

続・みんなで選挙に行こう！

—ミス八王子総選挙プロジェクト—

杏林大学総合政策学部 木暮ゼミナール C チーム
高田明珠舞, 小熊隼人, 大和田英里 大場悠里
指導教員 木暮健太郎

1. はじめに

若年層の選挙における投票率の低さが問題となっている。例えば、2014 年の衆議院議員選挙は、全体の投票率も 52.6% (小選挙区) と低かったが、最も低かったのが 20 歳代の 32.5% であった。

少子高齢化の進んでいる日本において、これから社会を担うことになる若い世代の意見は重要である。そこで、若者の意見をより反映させることを目的として、2015 年 6 月、有権者の年齢が 18 歳以上に引き下げられた。

翌年の 2016 年 7 月 10 日に行われた参議院議員選挙が 18 歳と 19 歳の有権者 (約 240 万人) の初の投票となった。同選挙の八王子市での投票率を見ると、18 歳が 56.98%、19 歳が 55.74% であり、18 歳では 5 ポイント、19 歳では 10 ポイント以上、全国平均を上回る高い数値であった (全国平均は 18 歳が 51.28%、19 歳が 42.30%)。

参院選で見られたように、八王子市における若年層の投票率は比較的に高かった。しかし一方、2017 年 7 月に行われた都議会議員選挙における八王子市の投票率は、10 代全体では 40.23% となっており、必ずしも高い数値とは言えなかった。

一時的なブームで終わらせないためにも、若い世代に向けた投票への継続的な働きかけ何が必要なのではないだろうか。

そこで木暮ゼミナール C チームでは、これまで私たちが関わってきた活動で得た経験を活かしながら、八王子市での選挙啓発について提案していきたい。

2. これまでの活動

政治学を学ぶ木暮ゼミナールでは、八王子学生天国での模擬投票、学内での模擬投票、あるいは、選挙管理委員会との協働によるワークショップの開催などを通して、幅広い選挙啓発を行ってきた。

例えば、2016 年の参院選前には、杏林大学として初となる大学内での模擬投票を実施した。私たちは、今まで身近なものではなかった選挙を身近なものとして感じてもらうために、大学生にとって身近と感じられるような架空の政党を考案し、模擬投票を行った。



写真 1 学内での模擬投票の様子

また、東京都羽村市では、毎年 11 月に行われる産業祭で、主に子ども向けの模擬投票を実施してきた。昨年は 2 日間で 1,000 人を超える参加者があり、一つのイベントとして定着しつつある。



写真2 羽村産業祭 模擬投票の様子

さらに、八王子の学生天国では、八王子市選挙管理員会の協力のもと、2016年から模擬投票を実施してきた。2回目となる2017年5月には、主に子どもを対象とする「八王子ゆるキャラ総選挙」、大学生や大人を対象とする「ラーメン総選挙」を試みた。とくに、ゆるキャラ総選挙は多くの参加者を集め、初年度を大きく上回る投票を得た。



写真3 八王子学生天国 模擬投票の様子①

写真4 八王子学生天国 模擬投票の様子②

3. 提案

ゆるキャラ総選挙では、多くの来場者に投票してもらうことができた。しかし、その多くは小さな子どもであり、残念ながら、大学生による投票は少なかった。そこで大学生の参加を促すために、来年の学生天国では新たな模擬投票を提案したい。

その内容は、八王子の大学に通う学生を対象とした「ミス八王子コンテスト」である。例えば、八王子にある大学の学園祭などでミスとなった学生を対象とする「ミスオブミス」、もしくは学生による自薦他薦で参加者を募り、その中からグランプリを決めるというものだ。

ミスコンは近年、SNSを通じてさらに盛り上がりを見せており、模擬投票の対象をミスコンにすることによって、大学生の投票に関する関心を高めることができると考えている。

投票については、ミスコン参加者の写真をTwitterやInstagram等のSNSを通じて拡散し、より多くの大学生に投票してもらえるようにする。また、ミスコン出場者にはSNSを通じて、八王子の店舗宣伝に協力してもらうことも考えている。店舗側の協力が得られれば、投票者への参加賞として、八王子駅周辺の飲食店で使用することができるクーポン券等を配布するといった方法も試みたい。これにより店舗側にもメリットが生まれると考える。

さらに、八王子市内には多くの大学があるので、その環境を活かしていきたいと考えた。そこで学生天国に参加している学生を中心に呼びかけ、ミスコンや学生天国終了後のゴミ拾いも実施したい。ゴミ拾いという作業を共にし、八王子市内の学生同士の交流の場を作ることができる。

4. おわりに

模擬投票などによって、自分たち自身、選挙に対する関心が高まった。そこで、八王子に通う大学生たちが選挙啓発に関わる機会を設けていきたい。このような活動が、八王子市における若年層の投票率をさらに上げることに役立つだろう。